

災害時外国人支援サポーター養成講座@宮古島 受講者募集要項

1 主催：（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団

2 後援：宮古島市

3 目的：

激甚災害が全国的に頻発していますが、沖縄も例外ではありません。もし県内で大規模な災害が発生した場合に、我々はどう乗り切るのか。空港や港が使えない、容易に他県からの応援が得られないとすると、どうということが起こるのか。

一方、新型コロナウイルス感染症禍を経てインバウンド需要は回復の兆しにあり、また県内に住む在住外国人数も増加していることから、地域防災力を高めることにより万一の場合に外国人の方々がことばや文化の違いのみをもって避難所等で孤立することのない支援体制を確立することは喫緊の課題です。

本講座は、参加者の「防災・減災」に対する意識を高め、島嶼県沖縄の地域防災力の向上を目指すとともに、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成することを目的に実施します。

4 対象者：

全ての講座を受講でき、「島嶼県沖縄の地域防災力の向上」や「災害時外国人支援」に興味がある方

- 講座は全て日本語で実施するため語学力は不問です。
- 参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締切ります。
- 高校生等の学生も受講できますが、「災害時外国人支援サポーター」としての登録（IDの交付）は満18歳以上とします。

5 実施日：2024年2月16日（金）～2月17日（土）*（詳細は「11 スケジュール」を参照）

*自然災害等により、「特別警報」等が発令された場合、講座を中止します。

6 実施場所：宮古島市役所（宮古島市平良西里1140番地）*開催場所を変更いたしました

7 募集定員：20名程度

8 募集期間：2023年12月25日（月）～2024年2月4日（日）

9 申込方法：

- （1）当財団ホームページ（<https://kokusai.oihf.or.jp>）内にあるオンラインフォームに、必要事項を入力の上、**2月4日（日）**までに申し込んで下さい。
- （2）お申込み後、自動返信メールの受信を確認して下さい。確認できない場合、必ず当財団までお問い合わせ下さい。
- （3）参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締切ります。 予めご了承下さい。

10 災害時外国人支援サポーターの認定

全日程を受講された参加者は、当財団の「災害時外国人支援サポーター」に認定し、修了登録証（I.D.カード）を交付するとともに、サポーターとして活動できるよう、当財団の負担によりボランティア活動保険に加入いたします。（現在県内には、**204名**の災害時外国人支援サポーターが登録しています）

11 スケジュール

平時から防災や減災に対する意識を高め、災害時の避難所等において外国人を含めた被災者にどのようなサポートをすることができるのか等について考え、知識を研鑽することを目的としていますので、**講座は日本語で行います。**

回	日時	内容
第1回	2月16日 (金) 9:00~16:00	<p>【導入・演習】災害時外国人支援の課題 -多文化共生社会の実現に向けて- 講義と演習を通して、県内に来県する外国人観光客や在住外国人が大規模災害時に直面するであろう問題や災害時のフェイズごとの支援のポイントを確認する。また「ストック情報」や「フロー情報」の理解を深めることで、「災害時外国人支援サポーター」として、どのような役割を担うことができるのか、具体的に学ぶ。</p> <p>【講義】災害時の外国人のニーズと財団の役割 他県の事例をもとに、外国人が災害時に対してどのような意識を持っているのか等を確認し、本事業の趣旨や大規模災害時における財団の役割について概説する。本講義を通して財団・サポーターとしてできる支援について考えていく他、災害時を取り巻く問題についてもこれまでの事例からみていく。</p> <p>【報告】熊本地震多言語支援 2016年4月に熊本県で起きた熊本地震の際に、熊本市国際交流振興事業団により立ち上げられた多言語支援センターに実際に参加し、外国人支援を行った職員による活動報告を行う。報告を通してサポーターとしてどのような活動を行うのか、具体的にイメージすることを目的とする。</p> <p>【演習】外国人被災者支援のための「オンライン避難者登録フォーム」活用セミナー 外国人観光客の帰国や健康状態、在住外国人のことばの壁等、大規模災害時に困難な状況に直面する外国人を支援するため、また避難所を巡回する職員や災害時外国人支援サポーターの円滑な情報収集を図るべく、「多言語オンライン避難者登録フォーム」の活用方法を学ぶ。本フォームは、当財団が開発したもので、大規模災害時に避難所巡回を通して得られる情報をデータ化し、各市町村や関係機関に円滑に情報提供できるよう整備したものである。</p>
第2回	2月17日 (土) 9:00~16:00	<p>【講義・演習】災害時に役立つ「やさしい日本語」 東日本大震災や鬼怒川水害、熊本地震等でも注目された「やさしい日本語」とは何か、実際に我々が使っている日本語とどのように異なるのか等、基礎的なことを学ぶ。実際に災害時に使われる表現を「やさしい日本語」にする演習も行う。</p> <p>【導入・演習】避難所運営ゲーム（HUG 図上訓練） これまでの講義で学んできたことを応用し、他の参加者と協力しながら避難所に見立てた模造紙の上に、被災者を敷地のどの位置に避難させた方が良いか等を考える、机上訓練「避難所運営ゲーム（HUG）」を行う。</p>

12 お問い合わせ

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団（OIHF） 国際交流課 葛（かつら）

住所：〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4丁目2番16号

TEL：098-942-9215 E-mail：kokusai@oihf.or.jp